

国語 1年生 学習計画と評価規準について

【学習の年間計画】

学期	月	学習内容 (単元)	学習のねらい
1 学期	4	◆オリエンテーション ○朝のリレー(詩) ○野原はうたう(詩) ○シンジュン(物語)	<p>■詩 「朝のリレー」、「野原はうたう」、「詩の世界」、「大阿蘇」、「さくらはなびら」 ・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 ・速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫しながら音読している。 ・表現の技法を理解し、表現を工夫して詩を書いている。 ・詩に描かれている情景を想像し、表現の効果を考えている。 ・詩の中の語句に着目し、詩全体の世界を豊かに想像している。 ・自分の知識や経験と結び付けて、作者のものの見方について考えている。</p> <p>■小説、物語文 「シンジュン」、「大人になれなかった弟たちに・・・」、「星の花が降るころに」、「少年の日の思い出」 ・場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。 ・表現に着目して登場人物の人柄や心情を読み取ろうとしながら作品を読んでいる。 ・前半部分と後半部分の人柄や心情の描かれ方を比較し、表現の効果について考えている。</p> <p>■説明文、記録文、意見文 「ダイコンは大きな根?」、「ちょっと立ち止まって」、「比喩で広がる言葉の世界」、「『言葉』をもつ鳥、シジュウカラ」、「『不便』の価値を見つめ直す」 ・「問い」と「答え」から中心的な部分を捉え、筆者の主張を理解している。 ・筆者の主張と事例との関係を理解している。 ・序論・本論・結論の段落のまとまりに着目し、要旨を捉えている。 ・進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。</p> <p>■古文・漢文 「いろは歌」、「蓬萊の玉の枝」、「今に生きる言葉」 ・音読に必要な文語のきまり、古文特有のリズムについて理解し、その世界に親しんでいる。 ・登場する人々の関係や思いに着目して読み、現代の自分たちと比べ、古典の世界と現代の人々に共通する部分を考えている。 ・音読に必要な文語のきまり、漢文特有のリズムや言い回しなどについて理解している。 ・故事を調べ、どんな意味に使われるようになったか説明している。</p> <p>■漢字・文法・語句 ・漢字の組み立てと部首について理解し、漢和辞典を使って調べている。 ・指示する語句と接続する語句の役割を理解している。 ・漢字の音・訓について理解し、熟語を正しく読んだり、同じ熟語の音・訓の読み方を使って短い文を作ったりしている。 ・漢字の成り立ちについて理解し、漢和辞典を使って調べている。 ・文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて理解している。 ・「単語の分類」「品詞」「体言と用言」について、理解している。</p>
	5	◆読書室を利用しよう ・漢字の組み立てと部首 ○ダイコンは大きな根? (説明)	
	6	○ちょっと立ち止まって(説明) ・話の構成を工夫しよう ・わかりやすく説明する	
	7	・言葉のまとまりを考えよう ・さまざまな表現技法 ○詩の世界(詩・説明) ○比喩で広がる言葉の世界(説明) ・読書感想文の書き方	
2 学期	9	・指示する語句と接続する語句 ○大人になれなかった弟たちに・・・(物語) ○星の花が降るころに(物語)	
	10	・方言と共通語 ・漢字の音訓 ○「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ(記録) ・根拠を示して説明しよう ・案内文を書こう	
	11	○いろは歌(古文・音読) ○蓬萊の玉の枝(古典)	
	12	○今に生きる言葉(古典)	
3 学期	1	○「不便」の価値を見つめ直す(説明) ・言葉の関係を考えよう	
	2	○少年の日の思い出(小説) ○さくらはなびら(詩)	
	3	・単語の性質を見つけよう(単語の分類) ・漢字の成り立ち ・一年の振り返り	